

主な事業

一般会計

議会費



88.3%が人件費です。

総務費



新町の総合的な振興を図るべく、総合計画の策定を行いました。また、ダム周辺、塚谷公園、健康づくり公園の管理を行い、周辺景観の保持と憩いの場の整備を図りました。さらに町営バスの運行、生活交通維持費補助を行い地域住民の交通の確保を図るとともに、高校生の通学助成を行い遠距離通学者の負担軽減を図りました。

民生費



「老人保健福祉計画」に基づいて各種施策に取り組みました。きめ細かい福祉サービスを提供するとともに、障害者の支援に努めました。国民年金事務については、年金制度理解のための各種啓発活動を展開しました。

衛生費



高齢者保健対策、生活習慣病予防対策、母子保健対策、精神保健対策を重要課題に位置付け、総合的な健康づくりと意識の高揚に努めました。

労働費



鏡野町勤労者融資制度に基づき、岡山県労働金庫に預託し、労働者に対し融資を行いました。

農林水産業費



平成16年度から始まった新たな米政策による「地域水田農業ビジョン」は、合併前の町村で策定されたものであったため、新鏡野町となり「鏡野町地域水田農業ビジョン」として策定し実施しました。平成19年度からは新たな経営安定対策が始まり、品目横断的経営安定対策、農地・水・環境保全対策が導入され、さらに新たな米政策が見直されますが、新制度導入に向けた検討を行いました。

商工費



旧鏡野、奥津、上齋原、富の商工会が平成17年4月1日に合併、鏡野町商工会として発足し、商工会が取り組む経営指導活動等への助成を行いました。また、鏡野町中小企業振興資金融資制度に基づき町内の中小企業に対する融資の利子補給、保証料補給を行いました。

一般会計 歳出 110億738万2千円

